

2025 年 4 月 16 日

「兆しレポート」を公表します ～省力化投資の成功を支える！現場社員のリスクリングの重要性～

人手不足が企業の経営課題となっているなか、労働生産性向上に向けたリスクリングや省力化投資の推進がその解決策の一つとなっています。その中で、「省力化投資の効果を高める現場社員のリスクリングの兆し」が伺えました。

今回の兆しレポートでは、リスクリングや省力化投資に係る国内外の動向や我が国の企業の実態、地域企業の取組事例を整理しました。併せて、現場社員のリスクリングと省力化投資の効果的な進め方のポイントを紹介します。

＜本レポートの概要（特徴）＞

1. リスクリングや省力化投資の取組状況を把握

現場社員主導で省力化投資を実施している企業及び社員教育を行った上で合理化投資を実行し、生産性が向上した企業の取組事例から、現場社員に対するリスクリングを伴った省力化投資の実施が有効であることが確認されました。

〔事例掲載企業〕 日本ガイシ株式会社

2. 地域中小企業における省力化投資に向けた現場社員のリスクリングの特徴を整理

省力化投資に向けて現場社員のリスクリングを先駆的に取り組む地域企業 2 社を取材し、省力化投資とリスクリングの内容をはじめ、リスクリングを推し進めるための取組や工夫点、それに伴う成果等の調査・分析により、取組の特徴を整理しました。

〔事例掲載企業〕 石川樹脂工業株式会社、株式会社樋口製作所

3. 現場社員のリスクリングと省力化投資の進め方のポイントをとらまとめ

企業の取組事例などを踏まえて、他の企業が取り組む上での参考となるよう、成果を上げる現場社員のリスクリングと省力化投資を進める上でのポイントとして、実施プロセス、ベンダーなど外部との付き合い方、及び現場社員に望まれるリスクリングの内容等を整理しました。

＜兆しレポートとは＞

「兆しレポート」は、社会構造や取り巻く事業環境の変化に対して、産業界や企業において対応が必要になると考えられる課題や支援施策の方向性を整理・とりまとめたものです。

（お問合せ先）

中部経済産業局 企画調査課長 品田

担当：中島

電話：052-951-2723（直通）

メール：bzl-chb-kikaku@meti.go.jp

